



5月の園だより

令和8年5月1日
目黒区立田道保育園園長

春の日差しが暖かく、新緑とともに街に咲いている色とりどりの花に癒され心が和みます。園庭にもたくさんのチューリップの花が先日まで咲き誇り、チューリップの歌を口ずさむ子どもたちの可愛い歌声が聞こえていました。

入園、進級して一ヶ月が経ち、新しい環境に少しずつ慣れてきている子どもたちです。朝の登園時に玄関に入ると涙を浮かべていた子ども、自分のマークの靴箱に「ここ」と言って嬉しそうに靴をいれたり、金魚やカメの水槽前で手を振り笑顔で室内へ向かう姿がみられています。先日、お迎えの際に「え？今日はまだお姉ちゃん帰ってきてないの？じゃあ帰ってくるまで、ママと二人きりの時間だよね。やったあ。」と、嬉しそうに抱きつく5歳児の子と保護者の方のやり取りに嬉しい気持ちになりました。進級し、憧れのお兄さんお姉さんになった嬉しい気持ちと同時に、環境の変化に戸惑い緊張や不安な思いもそれぞれのお子さんに見られていたと思います。園生活で頑張っている気持ちを保護者の方にもたくさん受け止めて頂き、元気に笑顔で過ごせるよう、保育士や看護師、栄養士や調理職員、用務職員で力を合わせて、子どもの気持ちに寄り添う保育に繋がっていきたいと思います。

今月から来月にかけて、各クラスの懇談会があります。子どもたちの進級した様子と、一年間クラスで大事にしていくことをお話をしたいと思います。是非ご参加ください。

今月の予定

こどもの日集会
(3・4・5歳児クラス)
春の遠足
(4・5歳児クラス)

懇談会について

1歳児クラス
2歳児クラス
3歳児クラス
5歳児クラス
4歳児クラス

※16:30~18:00ホールにて

保健室より



☆お子様の爪は伸びていませんか？

長い爪は菌の温床や、自分や他のお子様の肌を傷つける要因になります。子どもの爪は思ったよりも早く伸びますので、週に1回以上、曜日を決めてご家庭で切っていただくことをお勧めします。保育園では各クラス・事務所・保健室にて爪切りの貸し出しをしていますので、爪が長い場合はお声がけください。保育園でも週に一度爪のチェックを行いますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

各クラスの子どもたちの様子を紹介します



「任される喜びを感じて」

5歳児クラス(くじら組)

くじら組での生活にも少しずつ慣れ、子どもたちは毎日を楽しみに過ごしています。帰りの会では「明日の当番めくって」と声が上がり、人数報告当番になると「やったー」と友達と顔を見合わせて喜ぶ姿が見られます。年長児として役割を任される嬉しさや「やってみたい」という気持ちが高まり、当日の朝には自分から「人数報告当番やる？」と気づき、意欲的に取り組もうとする姿も増えてきました。各クラスへは2人で声をそろえて「人数報告当番お願いします」と元気に伝えに行っています。時には気持ちが高まり、廊下を走ってしまうこともありますが、声をかけながら見守っています。全てのクラスを回り終わると、「人数報告当番終わりました。」と達成感いっぱいの表情で報告してくれ、頼もしさを感じる毎日です。一つ一つの経験を大切にしながら、自信につながるよう関わっていきたいです。



「 安心して過ごせるように 」

0歳児クラス（めだか組）

初めて会う保育士や友達と過ごす、初めての保育園生活です。入室する時に泣く姿もありましたが、少しずつ保育士の傍に来てくれるようになり、手を伸ばして一緒に玩具を握ってみたり、保育士に笑いかけたりしながら、一緒に遊べるようになってきました。「上から下から」と歌いながら布を揺らすと、「ああ」と声を出して布に手を伸ばしたり、気になる玩具の方へ這い這いやすり這いをして行ってみようとしたりする姿があり、微笑ましいです。天気の良い日には園庭に遊びに行きます。「お花咲いてるね」「お姉さんたち何か作ってるね」と保育士が声かけると、じーっと保育士の話を聞いています。保育士と一緒に過ごす中で、少しずつ安心できる関係を築き、たくさん一緒に遊んでいきたいと思います。



「 もう一杯どうぞ 」

1歳児クラス（あひる組）

4月のはじめは、新しい環境に泣いてしまう姿も見られましたが、部屋の中でも園庭でも自分の好きな遊びを見つけられるようになってきました。また声を発したり笑顔で振り返ったりして、保育士に思いを少しずつ知らせてくれるようにもなっています。室内ではジュースを持って飲む真似をするなど再現遊びを楽しんでいます。保育士が「私にもくださいな」とコップを差し出すと、差し出したコップにジュースを注いでくれるので、飲む真似をして「おいしい」と言うと、ニッコリ笑顔を見せて何度も注いでくれる姿もあります。子どもたちの興味や関心に目を向けながらやりとりを楽しみ、好きな遊びを繰り返し楽しめるようにしていきます。



「 同じことをしてみたい 」

2歳児クラス（らっこ組）

4月当初は新しい部屋に緊張していた子どもたちですが、少しずつ気になる玩具を手に取り興味を持って遊んでみたり保育士と一緒に好きな遊びを楽しんだりしていく中で、子どもたちの方から話しかけてくれるようになり、笑顔で過ごせる時間も増えてきています。園庭に出ると、砂場や築山など思い思いに好きな場所へ行き遊び始めます。保育士や友達が築山に登っていると、その様子を見ていた子が築山に登りにやってきます。登っている時に滑って思うように登れないと悔しそうにしていますが、「大丈夫だよ。一緒にやってみよう」と声をかけ、保育士が足を支えて登りきることができると、築山の頂上でとても嬉しそうに手を振ってきます。引き続き、子どもたちのどんな気持ちも受け止めながら、好きな遊びを沢山一緒に楽しんでいきたいです。



「 お兄さんお姉さんみたいに 」

3歳児クラス（ペンギん組）

砂場の柄の長いシャベルが嬉しくて、持ち歩いたり砂を掘ってみたりしていましたが、今では「こんな大きな山をつくろうよ」「ここに水をいれるんだ」と、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいます。川の水がなくなると「もってくるね!」と、急いで取りに行ったり、夢中で船を浮かべたりするうちに砂と水でドロドロになっていますが、みんな楽しそうです。幼児クラスに仲間入りすることで、お兄さんみたいに太鼓橋を渡りたい、お姉さんみたいに大縄を跳んでみたいと憧れて、「自分も」とやってみようとしています。一人ひとりの意欲を大切にしながら保育士や友達と楽しく遊んでいきたいと思います。



「 期待を膨らませて 」

4歳児クラス（いるか組）

いるか組になってまもなく、遠足があることを伝えると「えー」と大喜びの子どもたちです。バスに乗って動物園に行くことを知ると、さらに目を丸くして驚きながら期待を膨らませていました。それからは朝の会や帰りの会で話をする度に「あしたえんそく?」と心待ちにしています。グループの名前も動物に決め、室内に貼った動物の地図を友達と眺めながら「そういるかな?」「ライオン見たいね」と会話も弾んでいます。初めてのバス遠足に期待を持ちながら、楽しみに準備を進めていきたいです。